

| 卒業必修 | 保育士必修 | 幼稚園教諭必修 | 選択 |
|---|-----------------------|---|----------------------|
| 授業科目名： 保育実習Ⅲ（施設） ナンバリング：2807 | 保育士資格取得のための 選択必修科目 | 単位数：2単位 （10日間）実習 | 担当教員名：高橋努 担当形態：単独 |
| 系 列 | 保育実習 | | |
| 教科目 | 保育実習Ⅱまたは保育実習Ⅲ | | |
| 授業の到達目標及びテーマ 1. 「保育実習Ⅰ（施設）」で学んだことを実践できる。 2. 児童福祉施設（保育所以外）、その他社会福祉施設における社会的養育の実情を理解できる。 3. 施設保育士として必要な資質・能力・技術を習得し、実践できる。 | | | |
| 授業の概要 既に学んだ教科目や保育実習の経験を踏まえ、児童福祉施設等の役割や機能、業務内容、職業倫理について理解する。地域と家庭との連携、保護者や家庭支援のための知識、技術、判断力を習得し、実習における自己の課題を理解し今後につなげていく。 | | | |
| 授業計画 2年次の9月以降、施設との調整のうえ10日間（休日を含む）の実習を行う。 【実習課題（実習テーマ）】 「保育実習Ⅰ」において、理解できた点、残された課題等を整理して、自らのテーマを選定し、日々の記録をおこない、課題達成に向けて努力すること。そのために、課題は明確であり、かつ、簡潔であることが望ましい。 【参加型実習】 本実習は、「保育実習Ⅰ」において学んだことをもとに、担当者の補助的役割を果たしながら、施設養護や支援の方法について実践的な理解を深める。 定期試験：レポート | | 授業時間外の学習 ・専門分野的な実習になる。「保育実習指導Ⅲ」で基礎的な知識をしっかりと学習したうえで、実習に臨むこと。（2時間） ・事前学習は、「利用者理解」と「家族支援」など多岐にわたる。文献検索など事前学習をしっかりと進めること。（4時間） | |
| 授業の方法 児童福祉法にある児童福祉施設（保育所を除く）及び障害者施設等での実習。フィードバックについては、施設からの評価をもとに、個別面談を実施。 | | | |
| テキスト 『施設実習 パーフェクトガイド』 守巧ほか著 わかば社 | | | |
| 参考書・参考資料等 ・実習先でのオリエンテーション及び実習において、実習のしおり、実習生の心得等の資料を配布。 | | | |
| 学生に対する評価 施設実習の評価（50%）、課題（50%） | | | |
| 履修上の注意 ・年度初めに「保育実習Ⅱ」と「保育実習Ⅲ」との希望調査を実施する。その際、「保育実習Ⅲ」を選択した学生が履修することになる。 ・ 「保育実習指導Ⅲ」を必ず履修 すること。 ・将来、施設保育士等を目指す学生が履修することが望ましい。 ・児童虐待や発達障害に関する相談支援等について、理解を深めたいと思う学生が望ましい。 ・副読本として、本学の『実習の手引き』を使用する。 | | | |
| 実務経験の有無 | 有 | 実務経験 | 元施設勤務（社会福祉士） |
| 実務経験を活かした教育内容 施設での実習生指導の経験を活かし、実習日誌の記入方法や実習目標の考え方などを説明する。実習先の種別に合わせた目標設定ができるよう授業を行う。 | | | |